

# 地方通信



## 北國便り

N T 生

百七十萬圓を以て着工中の金澤七尾間指定縣道の改修は七尾港竣工が目前に迫つてゐるのでこれと同時に完成せしむべく石川縣では内務省に年度繰上げ方を運動中であつたが内務省の財政計畫が許さず本年の工費割當額は三十萬圓にとゞまり結局最初の豫定通り二十年度に竣工するのやむなきにいたつた。本年度着工地區は鹿島郡越路、御祖、餘喜、瀧尾各村内延長約六千米であるが一方鋪裝費として六萬四千圓の配當があつたのでこれをもつて舊徳田村七尾市域

内の鋪裝が本年度中に完成することになつた、なほ本年度三十萬圓の工事に對する施行認可は昨四日附で内務省から到達したのでたいちに着工することになつてゐる。又金澤七尾間指定府縣道本年度工事の着工に引つづいて石川縣では縣境谷峠を越え福井縣勝山町をつなぐ白峰勝山線の工事に着手することになつた。同工事は十四年度から二十年度までの繼續で改修總延長七千五百メートルで現在までの出來高は一千五百メートルである、本年度は一千五百メートルである。本年度は繰越となつた二萬五千元および本年度分約四萬とを合して約一千万メートルでほかに谷峠の難所を隧道とするための距離約九千メートルがふくまれて

をり雪とけとともに事業開始のはずである。

## 臺灣から

K R 生

臺灣島内各地に構築されてゐる防空壕の大部分は、暫定的施設のものが多く、基隆市に於ても果して實用に適するか、どうか懸念され、市當局の確固たる指導方針の要望とともに港都防空陣の強化問題が新しく市民間に論議されて來たので市當局に於てもこの問題を慎重再検討した結果都市計畫線に設計されてゐる市内數ヶ所の隧道を早急に掘鑿し、そのまま防空壕として活用し、平常は市民の通路として利用してはとの意見がもちあがつて、最近防衛團中分團に於てこれを逸早く實施することになり、既に設計も完成近く着工する運びになつた。

# 關西通信

春帆生

かねてから計畫中である東京下關間快速列車運轉の鐵道敷設事業は愈々着工する運びとなつて六甲を打ち抜く大トンネルも其の姿を現はすこととなつた即ち大阪管内百六十キロのうち實地調査を終つたのは高槻英賀保間の百十キロで工事は高槻からびじまり茨木、吹田、新大阪驛を経て塚口から

武庫川を渡り、阪急の北側一・二キロを並行、廣田神社、西宮市、城山町、名次町を経て鷹屋に出で六甲山をトンネルでぶち抜き、神戸の背山鐵拐山を抜けて須磨北方から明石大久保の操車場附近を山陽線に沿つて英賀保に出るもので、新計畫豫定線一・二キロ間隔で二つくられてゐる。竹内技師以下大阪調査班十八名は關係府縣知事から交付の立入證をもつて田畑、人家に立入り二十米おきに鐵道省の木杭數萬本の打ち込

みを終了した。

清水、丹那を抜いて關西側がはじめて日本一トンネルを獲得する六甲山トンネルは大體來年度から掘鑿に着手、六年を費して昭和二十二年に完成の豫定であるがトンネルより掘り出す土砂は約二百萬立方約に上り野州、英賀保間は高架式築堤のため土砂一千萬立方米を要するので、使用に耐へる分だけはトンネル掘出しの分を流用する方針である。

なほトンネルは防塵壕と密接な關係をもつので資材難の重壓にも拘らず、最初の豫定をすつと繰り上げ、大阪擔當の分は昭和二十四年末には完成させようと意込んでゐる。伸びるは伸びるは、關門隧道も開通する、近くは關釜海底隧道も日本人の力でふちぬく愉快な通信である。

## 長野縣通信

早川生

長野縣鈴木知事は地方長官會議終了後歸廳して日本の現状に鑑み本縣々政上の五大要綱を抽出その昂揚をはかる、即ち本縣としては

- 一、縣民の健康増進と體位向上
- 二、重要生産物の増強方策
- 三、大陸への開拓移民送出の政策
- 四、國土保安上から見たる治山治水事業の完遂
- 五、教育の擴充刷新による皇國民練成の事業

である、右事業の遂行に對しては今後縣廳内各部署を督勵して銳意其實績の昂揚に努力すべきことを強調し之が完遂を期する旨を談られた。

X X X X

X X X X